



The Y's Men's of Sendai Hirosegawa



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

〒980-0822 仙台市青葉区立町 9-7

仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533

FAX: 022-222-2952

ブリテン〈No.175〉

2026年4月号

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

2025年度 主題(Theme)

国際会長: エドワード・オン(シンガポール) 「新年、愛、行動」

アジア太平洋地域会長: 田上正(西日本区) 「信念と愛を持って行動しよう!」

東日本区理事: 山下真(十勝) 「ワイズのらしさ再発見」

北東部長: 三田庸平(もりおか) 「ユースと共に明るい未来を」

仙台広瀬川クラブ会長: 菅野健 「季節感のある内容豊かな例会を持とう」

2025~2026 年度 クラブ役員

会 長	菅野 健	地域奉仕CS	佐藤 剛	DBC	菅野 健
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	佐藤 健吾	聖句	加藤 雄一
書記・会計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン	糟谷 昌洋
会計補佐	多田 純子	ユース	加藤 研	ブリテン	多田 修
監 査	加藤 雄一	ユース	加藤 雄一	ドライバー	糟谷 昌洋
メネット会長	多田 純子	YMCAサービス	橋本 俊博	担当主事	糟谷 昌洋
メネット副会長	加藤 真紀子				

【今月の聖句】

気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。

マルコによる福音書 13:33 新共同訳

【巻頭言】

あれから15年

菅野 健

東日本大震災から15年を迎えた3月11日、ワイズメンズクラブ仙台石巻4クラブが仙台YMCA等と共催しての祈りが石巻で行われました。全国から大勢の参加がありました。

15年が「もう15年か」「まだ15年か」は受け取る人によってどちらとも言えないでしょう。言えることは「地震で多くの命が奪われたこと」「原発事故はまだ終わっていない」ことでしょう。

当時生まれた子供たちは中学生になり、震災のことを記憶していない年代は毎年増え続けます。震災を知る私たちは、またいつか来るかも知れない大災害に正しく対処できるよう、15年前の出来事を正しく伝えて行かなければなりません。

15年目の6月に2026 東日本区大会が石巻で開催されることは大きな意義があります。

東日本大震災・原発事故をもう一度考えるときにしたいと思います。

4月第1例会 強調月間:「LT」							
在籍者	9名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	55%
休会者	2名	メネット・コメント	1名	ゲスト・ビジター	3名	ニコニコ	8,000円

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

【4月第1例会】お花見例会

日程：2026年4月15日（水）

時間：18：30～20：30

場所：びすた〜り榴ヶ岡

出席者：加藤研メン、加藤コメント、加藤雄一メン、菅野メン、橋本メン、糟谷昌洋

ゲスト：中川典幸メン（仙台クラブ会長）、関川美紀さん（次期担当主事）、

三田庸平メン（もりおかクラブ、北東部長）

「黙祷」

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 開会点鐘 | 会長 菅野 健 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. ワイズの信条 | 一同 |
| 4. 会長挨拶 | 会長 菅野 健 |
| 5. 今月の聖句・感謝の祈り | 加藤雄一メン |
| 6. 食事 | |



- | | |
|-----------------|----------|
| 7. 企画 「桜」に因んだ問題 | 副会長 加藤 研 |
|-----------------|----------|

花見団子を賭けて桜に因んだ問題を5問出題しました。

3択問題で橋本メンが全問正解しました。

おめでとうございます！！

- | |
|----------|
| 7. 連絡・報告 |
|----------|

後述のYMC A通信をご確認ください。

- | |
|---------|
| 8. ニコニコ |
|---------|

- | |
|---------|
| 9. 閉会挨拶 |
|---------|

副会長 加藤 研

- | |
|----------|
| 10. 閉会点鐘 |
|----------|

会長 菅野 健

【報告】

希望を胸に、未来のホスピタリティ産業を担う新入生が第一歩を踏み出す

桜の花がほころび始めた4月4日(土)、仙台 YMCA 国際ホテル専門学校の入学式が挙行されました。今年度も、ホテル・ビジネス業界への強い志を持った47名の新入生たちが、期待と緊張の入り混じった表情で、伝統ある仙台 YMCA 国際ホテル専門学校の門をくぐりました。

第1部は、日本ナザレン教団仙台富沢教会・阿部頌栄牧師のメッセージにより、礼拝が厳かに執り行われました。

第2部では、学校長の式辞および木島上講師会会長より、心温まる祝辞をいただきました。また、在校生からの励ましの言葉と、新入生による力強い抱負が語られました。新入生の言葉からは、これから始まる学校生活への期待と、YMCA 国際ホテル専門学校生としての誇りと自覚を持って歩んでいきたいという思いが伝わってきました。

本校での生活は、単に知識を習得する場ではありません。1年次から始まる豊富な実習や、多様なバックグラウンドを持つ講師陣・留学生との交流を通じて、世界に通用する人間力を磨いていきます。

4月1日から行われた入学式前のオリエンテーションでは、身だしなみや挨拶など、学校生活の基本となるルールを一つひとつ確認しました。慣れない環境に緊張しながらも、真剣に耳を傾け、互いに声をかけ合う姿が印象的でした。ここから始まる毎日の積み重ねが、やがて「信頼されるプロ」の立ち居振る舞いへとつながっていきます。

YMCAは創立以来、旅人を迎え、異なる文化を尊重し、共に生きる平和を願って歩んできました。ホテル・ホスピタリティの学びもまた、人を受け容れ、安心と喜びを届ける営みです。新入生の皆さんが、それぞれの夢を胸に、学校での出会いを力に変え、次の一歩を踏み出していくことを心より期待しています。

新しい仲間と共に歩み出したこの春が、皆さん一人ひとりの可能性を大きく花開かせる季節となりますように。

仙台 YMCA ホテル専門学校
校長 加藤雄一

5月 例会のご案内

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ4月第1例会

強調月間「EF/JEF」

日程：5月20日(水)

時間：18:45～20:30

場所：YMCA 立町会館 カフェ実習室

出欠のご確認は5月13日までに担当主事までご連絡ください。

【4月のお誕生日】

23日 多田 修 MEN

おめでとうございます



YMCA 通信

【5月の予定】

・20(水) 仙台広瀬川ワイズ 5月第1例会

【6月の予定】

・6(土) 第29回東日本区大会 石巻大会

・15(水) 仙台広瀬川ワイズ6月第1例会

【YMCA バザー実行委員会】

広瀬川クラブの実行委員は多田純子メネット

【YMCA バザー物品寄贈のお願い】

YMCA バザーでは物品寄贈をお願いしております。バザーでお売りいただける物品がありましたら YMCA までお持ちください。また、お知り合いの方等で YMCA バザーに物品寄贈いただける方がおりましたら YMCA までお知らせください。寄贈いただける物品を YMCA までお持ちいただく事が難しい場合は YMCA スタッフが受け取りに伺います。また、6月14日(日)当日の YMCA バザーもよろしくお願いたします。

YMCA バザー担当職員 金谷三平

仙台 YMCA バザー
物品寄贈のお願い

2025年度も仙台YMCAバザーの開催を予定しています。ご家庭で眠っている物品はございませんか？寄贈いただいた品物は、バザーで販売させていただきます。バザーの益金は仙台YMCAの活動を通して、児童福祉施設の子どもたちの支援や障がいのある子どもたちの活動支援、またYMCAの活動を支えるボランティアの支援等に用いられます。みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

☆受付物品例☆

※ 未使用の物に限ります。
日用品、インテリア用品、電化製品、手芸品、文具、おもちゃ、アルコール類、商品券、食料品(賞味期限内のもの)、その他
※ 古着や古本はご遠慮願います。
※ 1品でも大歓迎です

バザー当日のご案内

日 時：2025年6月14日(日)
10:00～14:00(予定)
場 所：仙台YMCA立町会館

☆物品寄贈方法☆

下記申込用紙に記入の上、物品を立町会館にお持ちください。持参いただくのが難しい場合は、YMCA ことも園(西中田・南大野田・加茂・長町)、児童館(旭ヶ丘・富沢・西山)のYMCA施設までお持ちください。
また、ご連絡をいただければ直接取りに伺うことも可能です！お気軽にお問い合わせください。

☆お問い合わせ☆

公益財団法人 仙台YMCA
バザー実行委員会 事務局
仙台市青葉区立町9-7
TEL 022-222-7533
FAX 022-222-2952
担当：金谷三平・糟谷昌洋



バザー

【編集後記】

気温の変化が大きく、夏に差し掛かるような感じがあった4月です。あっという間に花開いた桜は葉桜へと変わっていききました。華やかに咲き誇り春を感じさせるものの、短い期間で儚く感じる事もあります。担当主事の任期も残り2カ月となりました。思えばあっという間の2年間だったと感じております。

糟谷昌洋